

米づくり情報 (NO . 7)

令和3年7月27日

伊万里・西松浦地区農業技術者連絡会作物部会

1 気象概況 (アメダス観測地：伊万里)

月	半旬	平均気温		最高気温		最低気温		降水量		日照時間	
		平年値 ℃	本年値 ℃	平年値 ℃	本年値 ℃	平年値 ℃	本年値 ℃	平年値 mm	本年値 mm	平年値 時間	本年値 時間
7月	3	26.1	27.7	30.0	32.8	23.1	24.5	59.0	4.5	23.5	32.8
	4	26.7	26.9	30.9	33.0	23.5	22.9	42.4	0.0	28.3	29.6
	5	27.2	28.7	31.6	33.9	23.9	23.5	39.1	0.0	32.3	28.9
	6	27.6	—	32.1	—	24.2	—	44.3	—	41.4	—
8月	1	27.8	—	32.5	—	24.2	—	34.7	—	34.9	—
	2	27.8	—	32.5	—	24.2	—	38.7	—	33.4	—

【気象概況】

- 平均気温は、平年と比較して0.2~1.6℃程度高く推移した。
- 日照時間は、平年の108%とやや長い。
- 降水量は、平年の3%と極めて少ない。

2 生育状況 (7月27日)

項目 品種(設置場所)	年次	草丈 cm	茎数 本/m ²	主稈 出葉数L	葉色 SPAD	概要
夢しずく 6/2移植 東山代町脇野	本年値	87.7	384	12.1	37.6	<ul style="list-style-type: none"> • 草丈は、平年並み • 茎数は、平年並み • 主稈出葉数は平年よりわずかに少ない • 葉色は平年並み • 幼穂長 154 mm
	平年値	89.9	372	12.5	37.8	
	平年比	98	103	-0.4	-0.2	
ヒノヒカリ 6/20移植 松浦町桃川	本年値	60.6	528	11.2	39.3	<ul style="list-style-type: none"> • 草丈は、平年並み • 茎数は、平年より多い • 主稈出葉数は、平年並み • 葉色は平年よりやや淡い
	平年値	59.9	476	11.1	42.4	
	平年比	101	111	+0.1	-3.1	
たんぼの夢 6/15移植 松浦町桃川	本年値	58.9	475	11.4	41.9	<ul style="list-style-type: none"> • 草丈は、平年並み • 茎数は、平年並み • 主稈出葉数は、平年よりわずかに多い • 葉色は、平年よりやや淡い
	平年値	56.2	494	10.9	44.2	
	平年比	105	96	+0.5	-2.3	

(耕種概要)

※夢しずくの耕種概要は稲作情報 No.1、ヒノヒカリ・たんぼの夢の耕種概要は稲作情報 No.3 を参照。

3 今後の管理

1) 山間早植え水稻（5月上旬移植）

- まもなく出穂期を迎える。
- 最も要水量が大きい時期であるため、出穂 10 日後までは間断灌水の湛水期間を長めにとる。出穂開花期の干ばつは、不稔籾の増加の原因となるため、穂ばらみ期次いで用水確保が重要となる。
- 用水確保が難しい地域は、出穂後 1～3 日、出穂 10 日～15 日、できれば糊熟期（粒を押しつぶすと粘り気の強い糊状となる時期）に重点的に走水を行い、被害の軽減に努める。

2) 普通期水稻「夢しずく」

- 穂ばらみ期を迎えている。
- 穂孕期から穂揃期にかけては、イネの用水要求度が最も高い時期である。水が切れることがないように圃場の水管理を徹底する。
- 用水確保が難しい地域は、最も水を多く必要とする出穂7日前～14日前に、最低でも散水、可能であれば走水を行い、できるだけ黒乾状態を保つ。

3) 普通期水稻「たんぼの夢」、「ヒノヒカリ」等

- 有効茎（茎数が 1 株 20 本程度）が確保できた圃場から順次中干しに移行する。
- 高温と乾燥が続いているため、深い亀裂が入り、白乾している圃場が見受けられる。強い乾燥は、断根につながるため、中干し期間中であっても、軽く足跡がつく程度の黒乾燥状態を保つ。
- 用水の確保が難しい地域は、自然落水とし、水尻は完全に落とさないようにする。



白く乾燥し、深い亀裂が入った圃場

4) 共通

○主な病害虫の防除適期

病害虫名	稲のステージ 出穂前後日数	日数								
		-15	-10	-5	0	+5	+10	+15	+20	
紋枯病	並発生の場合	←→								
	多発生の場合	←→			←→					
穂いもち	並発生の場合			←→						
	多発生の場合			←→		←→				
カメムシ類	並発生の場合							←→		
	多発生の場合					←→		←→		

図3 紋枯病、穂いもち、カメムシ類の防除適期

- 圃場での病害虫の発生状況を確認し、防除時期を逸しないよう注意する。
- 農薬の使用にあたっては、使用する農薬の登録内容を遵守する（特に収穫前日数に注意）。

〇いもち病

・7月14日までのBLASTAM情報（気象条件のみによって葉いもちの発生を予測するシステム）によると、伊万里では7月17・18日に葉いもちの感染好適条件が観測されている（好適条件が観測された1週間後に初発生や病斑数の急激な増加が予想される）。田周りを行い進展型病斑が確認された圃場では、オリブライト粒剤等（収穫前45日、出穂10日前まで）で速やかに防除を行う。



いもち病進展型病斑

〇ウンカ類

- ・トビイロウンカの飛来が確認されており（p4トラップ捕獲状況の通り）、この飛来波の今後の発生予測はp5のとおりである（発生予測図は7月14日更新）。
- ・今後の飛来状況および気象条件により、発生予測図は随時更新される。
- ・防除時期については、今後の飛来状況や圃場条件（移植時期や品種、圃場の場所等）によってウンカ類の発生量が異なるため、注意深く圃場を観察する。

【情報田ウンカ類調査結果（20株あたり）】

（調査日：7/27）

品種	地域	移植日	トビイロウンカ		セジロウンカ		ヒメトビウンカ	
			成虫	幼虫	成虫	幼虫	成虫	幼虫
夢しずく	東山代	6/2	0	0	0	9	0	3
ヒノヒカリ	松浦	6/20	0	0	0	42	0	6
たんぼの夢	松浦	6/15	0	0	1	45	0	4

判別不能の若齢幼虫はセジロウンカとしてカウント

ウンカ類幼虫の見分け方について

	若齢幼虫の体色	中～老齢幼虫の体色	水面での後脚の出し方
セジロウンカ	白っぽい	灰白の斑紋	: 真横
トビイロウンカ	白っぽい	薄茶か茶褐色	: 真横～やや斜め後ろ
ヒメトビウンカ	黄褐色	淡黄色か薄茶か茶褐色 (体側の色が濃い場合あり)	: 斜め後ろ

		トビイロウンカ	セジロウンカ	ヒメトビウンカ
成虫				
幼虫	若齢			
	中齢～老齢			

表1 イネウンカ類・コブノメイガのトラップ捕獲状況(2021年)

月	日	トビイロウンカ						セジロウンカ						コブノメイガ					
		佐賀県			長崎県			佐賀県			長崎県			佐賀県				長崎県	
		佐賀市	佐賀市	嬉野市	諫早市	諫早市	諫早市	佐賀市	佐賀市	嬉野市	諫早市	諫早市	諫早市	佐賀市	神埼市	伊万里市	白石町	武雄市	諫早市
ネット トラップ	ライト トラップ	ライト トラップ	ライト トラップ	ネット トラップA	ネット トラップB	ネット トラップ	ライト トラップ	ライト トラップ	ライト トラップ	ネット トラップA	ネット トラップB	フェロモン トラップA	粘着トラ ップ(20W 蛍光灯)	粘着トラ ップ(20W 蛍光灯)	粘着トラ ップ(20W 蛍光灯)	粘着トラ ップ(20W 蛍光灯)	フェロモン トラップA	フェロモン トラップB	
5月	11日	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0							
	12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
	13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
	14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
	15日	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0							
	16日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
	17日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						0	
	18日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						0	
	19日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0						0	
	20日	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1						0	
	21日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						0	
	22日	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0						0	
	23日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0						0	
	24日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						0	
	25日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					0	
	26日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					0	
	27日	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0					0	
	28日	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0					0	
	29日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					0	
	30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					0	
	31日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					0	
6月	1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	1	0	0
	2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	3日	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	7	4	0	0	0	0	0	0
	4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
	5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	6日	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	7日	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8日	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0
	9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0
	10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	15日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	16日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	17日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	18日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	19日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	20日	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	21日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	22日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	23日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	24日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	25日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	26日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	27日	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	28日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	29日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7月	1日	0	0	0			1	0	0				0	0	0	0	0		
	2日	0	0	0			0	0	0				0	0	0	0	0		
	3日	0	-	0			1	-	0				0	0	0	0	0		
	4日	1	-	0			0	-	0				0	0	0	0	0		
	5日	0	-	0			0	-	0				0	0	0	0	0		
	6日	0	-	0			0	-	1				0	0	0	2	0		
	7日	0	0	0			1	0	0				0	0	0	0	0		
	8日	0	0	3			2	3	7				0	0	0	0	0		
	9日	0	0	2			2	16	143				0	0	0	2	0		
	10日	0	0	0			4	8	7				0	0	0	0	0		
	11日	0	0	0			0	0	4				0	0	0	0	0		
	12日	0		3			1		24				0	0	0	0	0		

注1) 佐賀市ネットトラップとライトトラップ(予察灯)は、農業試験研究センターで調査。嬉野市ライトトラップ(予察灯)は農業技術防除センターで調査。

注2) コブノメイガ: 神埼市、白石町、伊万里市、武雄市は防除員が調査。佐賀市のフェロモントラップは農業試験研究センターで調査。

※長崎県のデータは、長崎県農林技術開発センター環境研究部門病害虫発生予察室提供。

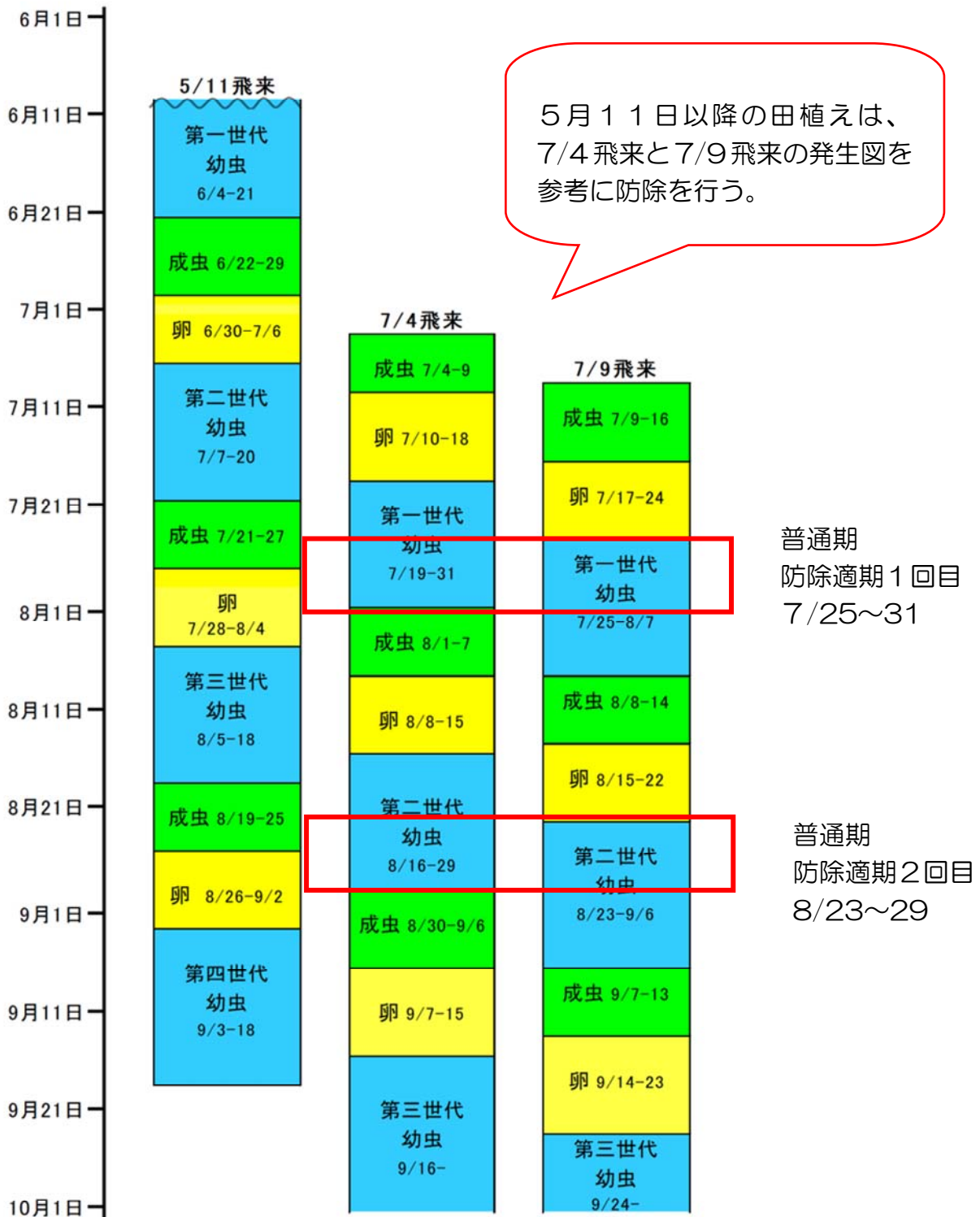


図1 トビウロウ各世代の発生予測(第2版、2021年7月14日作成)

1. 5月11日頃、7月3~4日頃(図では7月4日)、7月8~12日頃(図では7月9日)の飛来虫を起点とし、佐賀市川副町の気温データより算出した有効積算温度(7月14日以降は平年値)を基に作成した。
2. 田植え時期、品種等の違いによって、本虫の発生量は異なるので、必ず圃場ごとの発生状況を確認したうえで、防除対策を講じる。
3. 今後の気象経過等に応じて、本図は随時、更新するので、最新情報は、農業技術防除センターのホームページで確認する。

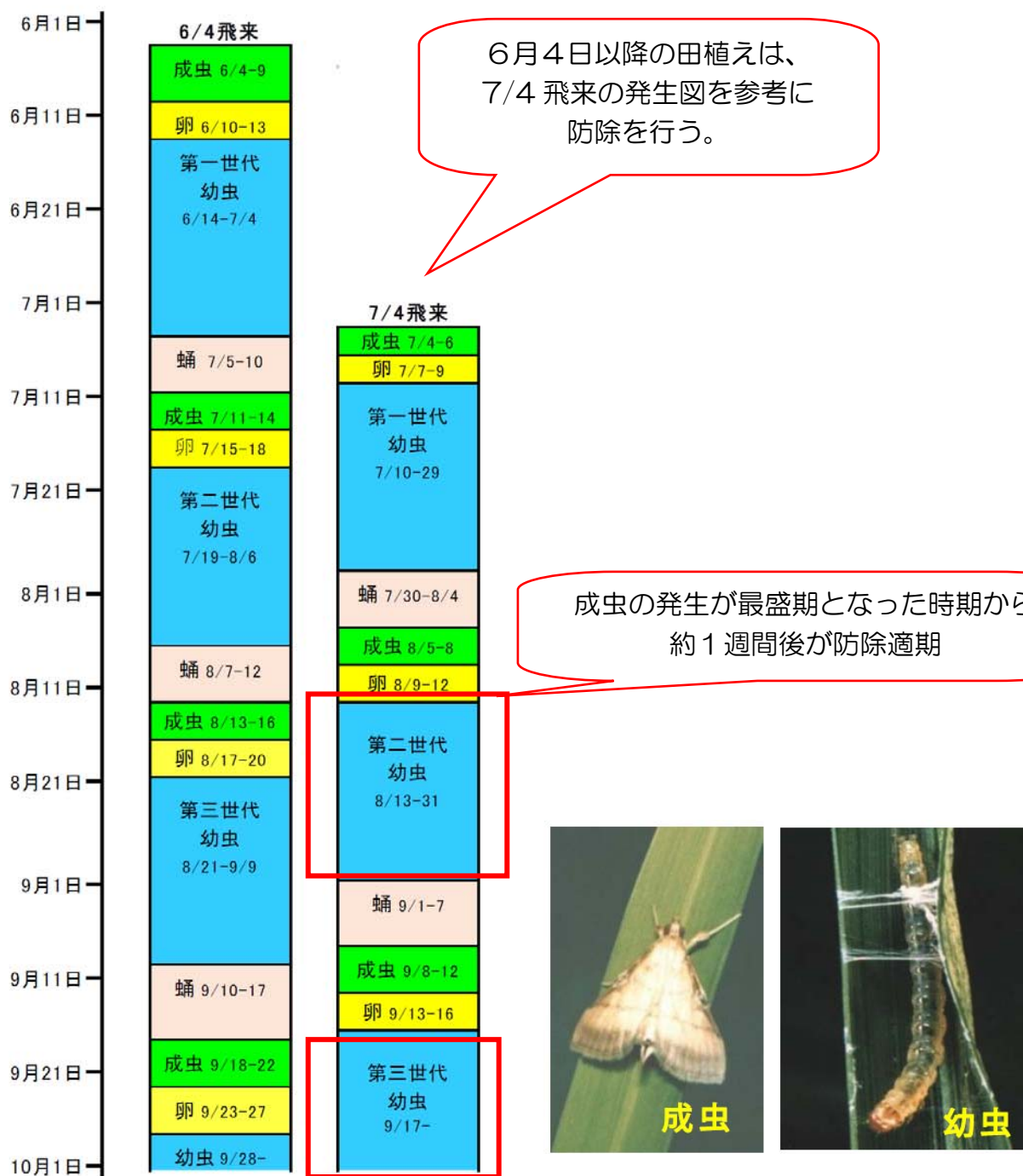


図2 コブノメイガ各世代の発生予測 (第1版、2021年7月14日作成)

1. 6月3～4日頃(図では6月4日)、7月3～4日頃(図では7月4日)の飛来虫を起点とし、佐賀市川副町の気温データより算出した有効積算温度(7月14日以降は平年値)を基に作成した。
2. 田植え時期、品種等の違いによって、本虫の発生量は異なるので、必ず圃場ごとの発生状況を確認したうえで、防除対策を講じる。
3. 今後の気象経過等に応じて、本図は随時、更新するので、最新情報は、農業技術防除センターのホームページで確認する。

連絡先：佐賀県農業技術防除センター 病害虫防除部

〒840 - 2205 佐賀市川副町南里1088

TEL (0952)45 - 8153 FAX (0952)45 - 5085

Mail nougyougi.jutsu@pref.saga.lg.jp

ホームページアドレス https://www.pref.saga.lg.jp/ki_ji00321899/index.html



令和3年産水稻生育期間気象グラフ（アメダス：伊万里）

西松浦農業改良普及センター

